

# 日本心エコー図学会 教育委員会 地方における小規模講習会に関する報告

2014. 10. 10

教育委員会では、若手医師への心エコー図学の普及・啓蒙に努めるため、大都市圏以外での小規模講習会を行うこととした。2013. 10月にまず第1回目のモデルケースとして福島県の研修医等を対象としたハンズオンセミナーを開催した。昨年に引き続き、2014. 10. 4に福島県の研修医等を対象としたハンズオンセミナーを企画・開催したので報告する。

## 1) 概容は以下の通り。

セミナー名：平成 26 年度福島県臨床研修病院ネットワーク レジデント・スキルアップセミナー  
「心エコー図法を自分の武器にしているか?!」～スペシャリストから学ぶ心エコー図法～

主催： 福島県、福島県臨床研修病院ネットワーク

共催： 日本心エコー図学会

企画： 日本心エコー図学会 教育委員会

事務担当： 福島県臨床研修ネットワーク事務局（セミナーの告知、参加受付、会場手配含む）

日時： 2014 年 10 月 4 日（土） 9：30～ 16：30

場所： 福島県文化センター 会議室兼展示室（公的施設）

対象： 福島県内の初期研修医（専攻医も可）

参加者： 定員 35 名に対し、44 名の申し込みあり、昨年参加者を除いて最終的に参加者を 36 名に決定。当日参加 35 名、欠席 1 名（出席率 97.2%、初期研修医 1 年目 31 名、2 年目 4 名）。

内容： 初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン

エコー装置： 6 台（エコーメーカー 2 社のご厚意により無料貸し出し）

被検者： 健常者 6 名

## 2) 予算について

本セミナーは福島県の医師確保のための「福島県地域医療人材育成事業（福島県地域医療再生基金）」の予算から支出されており、全額福島県の負担である。参加者からの参加費徴収はない。

講師に対しては、県の規定に沿った講師料が支払われた。

## 3) プログラム

2 つのセッションにわけ、午前中は基本的な内容として、15 分程度の講義とそれに引き続きハンズオンを行った。午後はより臨床的な内容とし、講義の後、救急外来で使う場合を想定してハンズオンを行った。また、福島県という地域性を考え、甲状腺エコーに関するハンズオンも一部組み込んだ。さらに、最後の講義では心エコー図学の魅力を伝えるべく、今後の心エコー図学の発展性について話をした。なお、参加者には事前課題として基本断面の描出などを課し、準備を促した。

9:30	<b>開会の挨拶</b> 日本心エコー図学会副教育委員長挨拶	大谷晃司(福島医大医療人育成・支援センター) 高野真澄(福島医大)	
<b>セッション 1</b>	9:35～12:05	<b>心エコー図法の基本を識る</b> 心エコー図の基本断面の成り立ち 基本断面の描出と EF(シンブゾン法) ドブラ法の基本 カラー、PW、CW の使い方を習得 ドブラ法を使って心不全を評価する E/A, E/E', TR-PG	座長 高野真澄(福島医大) 演者 渡部朋幸(わたり病院)  演者 伊藤記彦(東北大学病院)  演者 藤田雅史(みやぎ県南中核病院)
	9:35～9:50 15分 9:50～10:25 実習 10:25～10:40 15分 10:40～11:15 実習 11:15～11:30 15分 11:30～12:05 実習		
	休憩		
<b>セッション 2</b>	13:10～15:10	<b>臨床現場で心エコー図法を使う</b> 壁運動異常をよむ 心不全かどうかを判断する 救急外来での使い方 救急外来を想定して心エコー図を撮る	座長 渡部朋幸(わたり病院) 演者 伏見悦子(平鹿総合病院) 演者 高野真澄(福島医大) 演者 菅原重生(日本海総合病院)
	13:10～13:30 20分 13:30～13:50 20分 13:50～14:10 20分 14:10～15:10 実習		
<b>セッション 3</b>	15:10～16:20	<b>様々な場面で超音波を使う</b> 甲状腺エコーを学ぶ 甲状腺エコーを撮る いつどこでどんな時、超音波を役立てるか	座長 渡部朋幸(わたり病院) 演者 鈴木真一(福島医大)  演者 高野真澄(福島医大) 大谷晃司(福島医大)
	15:10～15:25 15分 15:25～16:00 実習 16:00～16:20 20分 16:25		
		<b>閉会の辞</b>	

#### 4) 指導者について

講義は教育委員会から3名、福島県の評議員1名、東北地方の専門技師2名が担当した。ハンズオンは6グループで、1グループあたり参加者6名に対して、指導者2名の体制とした(福島県内の心エコー図学会認定専門技師・超音波検査士6名が指導者として参加)。

#### 5) 参加者からのアンケート結果について(詳細は別紙参照)

1. 2013年に比べ1年次研修医の比率が多かったが(66.7%→76.7%)、エコー経験が全くない参加者は34%→19%と減少した。1年時研修医では、事前課題を出したことで心エコーの経験値をあげられたこと、2年次研修医では昨年のセミナー開催後、心エコーを行う研修医が増えたため、全体として日常臨床で心エコー図を行うことが多くなったことが考えられる。
2. 講義内容、実習内容、実習時間はいずれもちょうど良いが70%であった。実習時間は昨年短いという声が聞かれた(ちょうど良い54%、短い38%)が、今回は実習時間を長めに設定し、ちょうど良いという声が多くなった(ちょうど良い70%、短い24%)。
3. セミナー全体としては、「良かった、とても良かった」が91%、今後同様のセミナーに参加したいかという問いに対して「参加したい、是非参加したい」が85%であり、昨年に引き続き非常に好評であった

#### 6) 参加者からの感想

- ・ 短時間で効率良く学べた。実際の臨床の症例に沿ってエコーを当てる実習は、臨場感があって明日からの研修現場に役立ちそう。
- ・ 心エコーに自信がなくて手にとることをためらっていたが、このセミナーを機にどんどん練習していきたいと思った。血管エコーのセミナーがあれば是非参加したい。
- ・ エコーを実際にやりたい気持ちが実践に結びついていなかったのが、よいきっかけになる。
- ・ 救急外来での実習がよかった。積極的にエコーをやりたくなった。
- ・ 講義と実習のバランスがとても良かった。
- ・ 最初は少し難しいと感じたが、症例を通して実際にやってみることでどういう場面でどの検査をすればいいか、どんな測定をすればいいのかがわかって良かった。

#### 7) 指導者からの感想

- ・ 昨年に比べ指導者も2回目ということで、実習の指導が円滑にできた。
- ・ 事前課題を課したことで、昨年よりも参加者のレベルが高い印象があった。
- ・ 数人、全く心エコー図をやったことがない参加者がいたが、めきめきと上達していた。
- ・ 大変充実した楽しいセミナーで、自分自身も大いに刺激をいただきました。研修医が目を輝かせながら熱心にプローブを持っている姿がとても印象に残った。同時に当院の研修医にも、もっと心エコーを直接教えてあげなければ、と感じた。
- ・ 研修医の心エコーに興味を持つきっかけにもなっており、心エコー教育という観点からも本セミナーは大変すばらしい取り組みと思う。

#### 8) まとめ

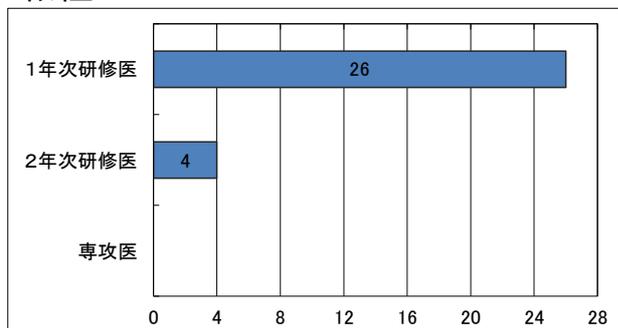
昨年に引き続き、主として初期研修医を対象にした心エコー図ハンズオンセミナーを開催した。指導側も2回目の開催で円滑な指導が可能となり、参加者には事前課題を出したことで、有効な実習が可能であった。

研修医のレベルアップの観点からは、昨年よりも参加者のレベルがアップしていると感じられることから、地域の組織との連携をはかりながら、継続した本セミナーの開催は有効であると考えられた。

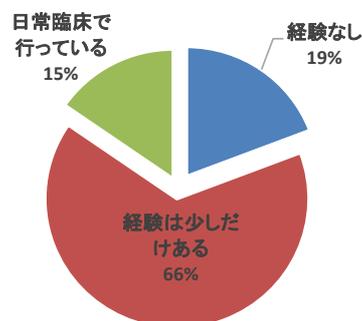
(文責：福島県立医科大学 高野真澄)

# 平成26年度福島県臨床研修病院ネットワークレジデント・スキルアップセミナー アンケート集計: 参加者 35名 回答者 33名 回答率 94%

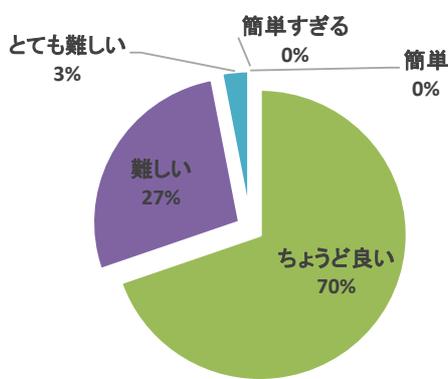
## 1. 職種



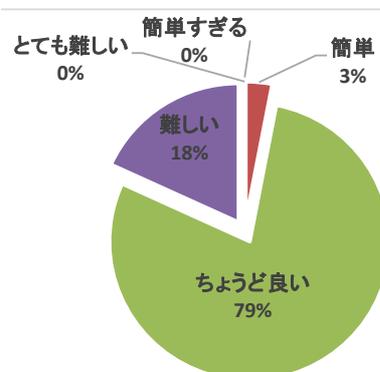
## 2. 心エコー経験



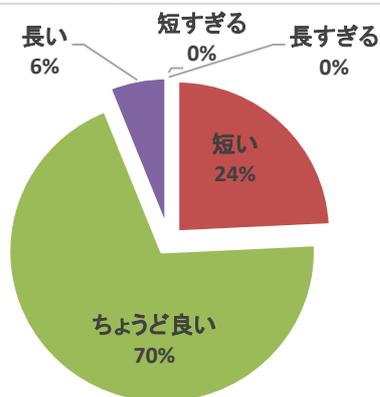
## 3. 講義内容について



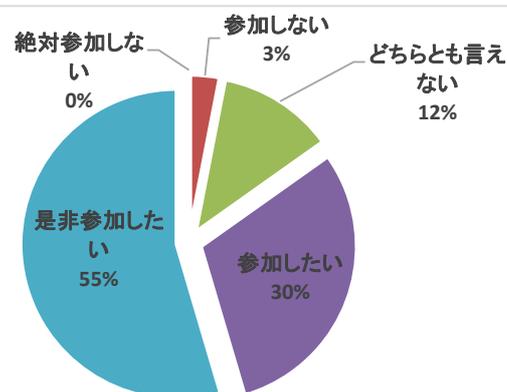
## 4. 実習内容について



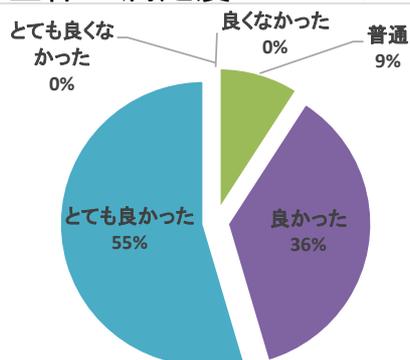
## 5. 実習時間について



## 6. 今後、同様のセミナーがあれば参加したいですか？



## 7. セミナー全体の満足度について



平成26年度福島県臨床研修病院ネットワーク レジデント・スキルアップセミナー  
「心エコー図法を自分の武器にしているか?!」  
～スペシャリストから学ぶ心エコー図法～

主催： 福島県、福島県臨床研修病院ネットワーク  
共催： 日本心エコー図学会  
日時： 2014年10月4日(土) 9:30～ 16:30  
場所： 福島県文化センター







写真掲載にあたっては参加者の許諾を得ております